



## レクリエーション活動 : 夏祭り

平成20年7月30日太田正氣記念館(体育館)に於いて、夏祭りが開催されました。浴衣を着ての盆踊り、ヨーヨーつりやスーパーボールすくいなど催しも沢山用意されており、全てをまわるには時間が足りない程でした。多くの患者様が参加され、多くの方とコミュニケーションをとり、夏という季節を満喫されたのではないのでしょうか。担当スタッフのアイデアと極め細やかなサービスにより、車イスの患者様も充分に楽しめるよう配慮されていました。

来年の夏も今回以上に夏を感じられる行事になることと思います。



## 医療安全管理職員研修会

平成20年8月5日会議室に於いて院内感染対策、医療安全管理、医薬品安全管理、医療機器安全管理の研修会がおこなわれました。

この研修会は、年2回行われます。

各委員会の取り組みを全職員を対象に紹介し、医療法人社団正仁会の組織全体として医療安全の活動を行えるよう周知徹底を図るのを目的とし、各委員会のマニュアルに関する内容や、現在の動向、組織としての改善点など様々な医療安全に関するテーマを盛り込んだ充実した研修会になっております。

これからも患者様により質の高い医療・介護サービスを提供できるよう全職員一丸となって頑張って参りたいと思います。

### 基本理念

『人間愛に満ちた医療と愛情こもる看護・介護』



医療法人社団正仁会

明石土山病院・介護老人保健施設希望  
つちやま訪問看護ステーション・精神障害者生活訓練施設みどり寮  
精神障害者福祉ホームB型マックナイトホーム



〒674-0074

兵庫県明石市魚住町清水2744-30

TEL:078-942-1021

FAX:078-941-1573

E-mail:info@athp.jp

ホームページもご覧下さい

PCサイト <http://www.athp.jp/>

携帯サイト <http://www.athp.jp/i/>



# Midori ~みどり~

平成20年8月12日発行  
夏号 みどり



## 地球温暖化

理事長・院長 太田 正幸

地球温暖化が話題になりはじめて久しいですね。気象庁の統計によると最高気温30以上の「真夏日」は、西日本では、1950年代半ばに減少したものの、1960年代にかけて急激に増加し、その後は、1980年頃まで減少傾向、最近では南西諸島と同様に再び増加してきていますが、1940年代、1960年代と比べて多くはなっていません。

一方、最低気温が25をこえる、「熱帯夜」は西日本において1970年代半ば頃から急激に増加しつづけており、真夏日日数の変化とは大きく異なっていることが分かります。このことは過去と比べて、「日中の暑い日はそれほど増えてはいないが、夜間に気温が下がりにくくなっている」ことを示しています。「日較差(1日の気温の変化)が小さくなってきている」とも言うことができます。

いずれにしても「熱中症」に注意して、できるだけ涼しいところで、こまめに水分を補給しながら、この暑い夏を乗り切ってください。



イワギキョウ



## 統合失調症という病気について

医師 山本 康二

精神科に通院されている多くの患者さんが、この病気と闘い、薬などを使って治療し、そして病気をもちながらも一生懸命頑張って生活しています。

ではこの病気がどんなものであるかという、患者さんやその家族の方々でも理解が困難であることが多いようです。

統合失調症という病気について、患者さん、家族の方々、医療従事者も含めて少しでも多くの人々に理解を得られたらと考え、話をさせていただきます。

### 1. どれくらいの方が病気と闘っているのか？

生涯に統合失調症に罹るのは人口の約1%といわれ、単純に計算しても100万人程度の方が統合失調症に罹る可能性があると考えられています。これは世界各国でも同じくらいの確率で、男女差もほとんどないといわれています。

### 2. 何が原因なのか？

現在いろいろな研究がなされていますが、はっきりした原因はまだ見つからないのが事実です。遺伝子の異常もはっきりとしたものは見つかりません。しかし、遺伝的な要因があるのではないかと考えられています。

では、実際に体のどの部分の調子が悪くなるのかという、脳の神経の働きや脳の中のいくつかのホルモンの働きに問題が生じて起こるものと考えられています。また、一つの神経やホルモンだけではなく、複数のものがバランスを崩していると考えられています。

大事なことです、決して性格の問題や育て方が原因ではないので、皆さんもくれぐれも誤解しないようにしてください。

### 3. どのように発病するのか？

一般的に10代後半から症状が出てくることが多く、通常の学校や仕事のストレスがきっかけとなることが多いようです。

何か特別なストレスでなくても症状が出現するので、このようなものは原因ではなく、たまたまきっかけにっただけと考えています。

皆さんもその時に色々思い悩まれると思いますが、「あれが原因だったんじゃないか？」と考えてしまうこともありますが、決して誰かに、また何かに原因があるとは考えないでください。

最初は、仕事や学校に行けなくなる、人と会ったり外出したくなくなる、物音や人の声に敏感になる、物事を考えようと思ってもうまく頭が働かない感じがする、自然に笑ったり喜んだりできなくなる、服装や身だしなみが気にならなくなる、その他不眠、食欲低下、頭痛なども出現し、一人一人の患者さんによって違うことも多いようです。

(3ページに続く)

(2ページから続く)

いずれにしても、多くの方がしんどい状態がしばらく続くうえに、家族や友人にも相談できず悩まれることが多いようです。このような時期は決して一人で悩まず、怖がらず家族や友人に相談したり、病院で診察を受けて欲しいと考えています。

### 今回のまとめ

統合失調症という病気は、未だにはっきりと原因が分かっていません。

育児や教育によって起こるものでもありません。

病気になることは大変なことです、決して誰かを責めたりしないでください。

病気の始まりが分かりにくいことがあります、一人で悩まずに誰かに相談してください。

次回は、具体的な症状や治療法についてお話します。



白山フウロ  
シナノキンポウゲ



キヌガサソウ

## レクリエーション活動 : ふれあいバザー



平成20年5月22日太田正氣記念館(体育館)に於いて、ふれあいバザーが開催されました。体育館の中では、様々なものがお手ごろな値段で販売され、良い熱気に包まれたバザーでした。商品の中には、デイ・ケアで作成された手作り商品等もあり、売り手買い手ともに充実した時間を過ごせたようです。

このふれあいバザーは金銭感覚やコミュニケーション能力等、社会復帰に必要な要素が盛り込まれたレクリエーション活動となっております。

次回開催時も多数のご参加をお待ちしております。